

# ご存じですか？ 「保護司」について



“社会を明るくする運動” 大阪府推進委員会  
マスコットキャラクター「アカルイーネ」

保護司は、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことのないよう、その立ち直りを助けるため、法務大臣から委嘱されて活動しています。日本では保護司は無報酬で活動しており、これは世界でもあまり例を見ないものです。

全国の保護司の定数は52,500人で、大阪府下では約3,100人が、守口市では63人が活動しています。

## 保護司の主な仕事

### ●保護観察

犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るために指導を行います。

### ●生活環境の調整

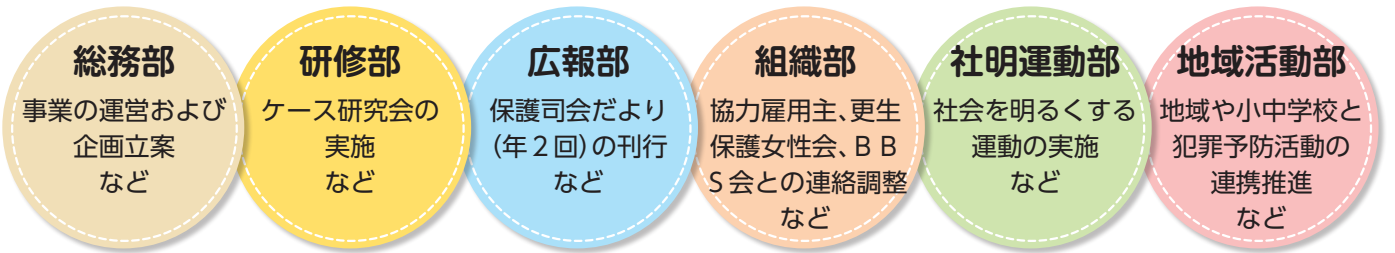
刑務所や少年院などに入っている人たちが出所後、スムーズに社会復帰できるよう、必要な受け入れ態勢を整えます。

### ●犯罪予防活動

「社会を明るくする運動」や「薬物乱用防止教室」など、犯罪や非行のない明るい社会を目指すための活動を展開しています。

## 各部会の紹介

守口地区保護司会は、6つの部会で構成されており、それぞれの役割に応じて活動しています。



## 関係団体の紹介

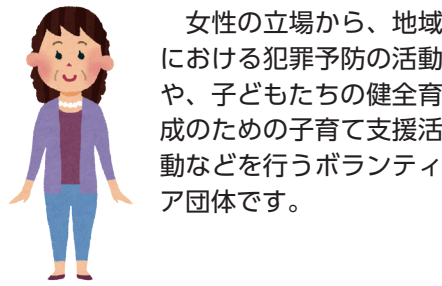
保護司とともに、更生保護ボランティアとして下記の3団体が互いに協力・連携し、守口市の更生保護活動に取り組んでいます。

### 協力雇用主



過去に罪を犯したことを承知の上で雇用し、その立ち直りを支援する事業主です。

### 更生保護女性会



女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や、子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

### ※ BBS会



さまざまな問題を抱える少年と、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年の成長を助ける青年ボランティア団体です。

※ Big Brothers and Sisters movement

## 社会を明るくする運動

すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする、法務省主唱の全国的な運動です。毎年7月を強調月間と定め、活動が展開されるようになり今年で65回目を迎えます。

守口市でも、守口地区保護司会がこの運動に呼応して“犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ”をスローガンに、各種関係機関・団体の協力のもと、イオンモール大日と京阪守口市駅前で「街頭啓発活動」を実施します。



昨年イオンモール大日にて行われた「社会を明るくする運動」の様子

### お知らせ

時 7月7日(火) 16:00～

場 イオンモール大日 シネマ側2階フォレストコート

内 セレモニー、守口地区更生保護女性会によるコーラス、啓発グッズの配布、国連支援募金活動

時 7月10日(金) 16:00～

場 京阪守口市駅前周辺 内 啓発グッズの配布

## 薬物乱用防止教室



守口地区保護司会では、守口ロータリークラブや守口地区更生保護女性会の協力のもと、平成17年度より市立中学校において「薬物乱用防止教室」を行っています。子どもたちに薬物乱用の実態について認識させ、薬物に対する正しい知識と誘われたときに断る勇気をもつことを伝えています。今年も全ての中学校で実施することが決まっており、啓発DVDの上映や生徒と先生のロールプレイングなどを取り入れ、毎年工夫して指導に取り組んでいます。



今年6月8日に梶中学校にて行われた「薬物乱用防止教室」の様子

### 予告

#### 薬物乱用防止シンポジウム

時 平成28年3月5日(土) 13:30～

場 エナジーホール1階  
(守口文化センター)

内 水谷修氏基調講演、活動報告映像の上映



(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターマスコットキャラクター「ダメ。ゼッタイ。君」

### 会長からひとこと



守口地区保護司会 田村禮子会長

保護司をしていて、一番の喜びは、保護観察となった人たちが立ち直ってくれたときです。しかし、良いことばかりではなく、時には裏切られることもあります。それでも「きっかけさえあれば、人は何度でも立ち直ることができる」と信じているから、やりがいをもって続けられます。これからも各関係団体と協力しながら「犯罪のない明るい守口」を目指して頑張ります。